

本部別事業戦略



常務執行役員
インベストメント本部長
橋本 泰彦

インベストメント本部

インベストメント本部は、スタートアップ企業や事業会社、ファンド等へのエクイティ投資と、LBOローン、メザニン、ハイブリッド等、ミドルリスク・ミドルリターン案件への投資を中心に、ポートフォリオを適切に構築・運営してファイナンスソリューションを提供しています。

強み 〈みずほ〉と連携した、お客さまニーズへのアクセス力

丸紅や投資ファンドとのネットワークからの投資機会と案件ソーシング力

マーケット環境・お客さまの成長ステージに応じた、柔軟な投資・ファイナンス手法の提供能力

成長戦略と中計2025の進捗状況について

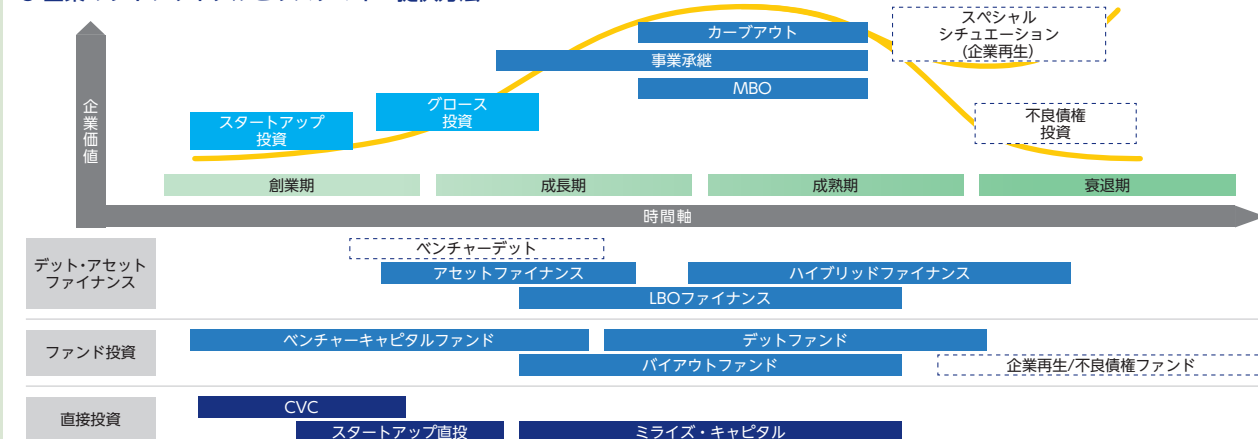
以下3点を注力施策としています。

- 事業会社への直接投資の強化
- お客さまとの共同投資等による価値共創の推進
- 海外の再生可能エネルギーやインフラ案件、証券化商品等、新たなファイナンス領域への取組拡大

戦略上のポイントは以下のとおりです。

- お客さまのステージや多様な戦略アクションに対して、さまざまなプロダクトを提供（創業期～成熟期/ローン～エクイティの幅広いアセットクラスに対応）

① 企業のライフサイクルとリスクマネー提供方法



引き続きありたい姿に向かい、お客さまへの価値提供と、当社の企業価値向上に貢献してまいります。

- お客さまのエクイティニーズの把握力を高めるとともに、特定テーマを設定して知見を深め、社内外のネットワークをフル活用し案件ソーシング力と事業連携力をさらに強化
- マーケット環境を勘案し適切なリスク・リターンが見込める案件に投資を行い、良質なアセットを積み上げ、安定的な収益を獲得
- 社内でのノウハウ共有を通して、人材育成も強化

2024年度のレビュー

- 当社100%出資の未来創造キャピタル㈱が運営するコーポレートベンチャーキャピタル（CVC）ファンドからのスタートアップ投資と事業連携を加速
- 国内にて脱炭素社会実現に貢献する発電事業へ、海外にて再生可能エネルギーへの投資を実行。クレジット関連ではマーケット環境をとらえて常に新しい視点を持ちながら投資に取り組む

リスク認識と対応

- 国内外の株式や金利の動向を注視しながら、投資対象の事業領域や投資プロダクトについて、分散を意識しつつポートフォリオ構築を着実に推進
- 外国為替市場の動向に留意しつつ、グローバルな投資機会を探索し厳選して取り組み
- 資金の流動性はアセット価格、当社ファンディング能力の双方に影響を与えるファクターとして認識、流動性・収益性を意識した、デットおよびエクイティポートフォリオ構築に取り組む

ビジネスピックアップ

CVCファンドからの投資と事業連携を通じ、社会やお客さまの課題を解決

取組事例1：人手不足や業務効率化といった現場課題の解決推進

業務DXロボットおよび統合管理プラットフォームの開発を手掛けるugo㈱へ出資・連携してレンタルスキームを提供することで、現場革新と持続的成長を支援しています。



業務DXロボット「ugo」

取組事例2：省エネルギーソリューションの推進

ワイヤレス給電技術を活用したビルマネジメントシステムの開発等を手掛けるエイターリンク㈱へ出資を通じてソリューションの展開を支援し、お客さまの脱炭素経営の実現と環境負荷の低減をサポートしています。



空間伝送型ワイヤレス給電ソリューション「AirPlug」

天然ガス発電事業への参画

大阪ガス㈱、㈱日本政策投資銀行、SMFLみらいパートナーズ㈱と共同で、長期脱炭素電源オークションで落札した兵庫県姫路市における天然ガス発電事業への出資を決定しました。約600MWの高効率な発電設備を建設し、2030年度中の運転開始を目指します。将来的には燃料としてe-methane（CO₂とグリーン水素等を原料とする合成メタン）を導入することを検討しており、脱炭素社会実現への貢献を目指します。

丸紅との連携による海外再エネ投資

丸紅がスポンサーであるMM Capital Partners 2号㈱、大和エネルギー・インフラ㈱と共同で、Total Energiesが保有するポルトガルにおける再生可能エネルギーポートフォリオの持分50%を取得しました。本事業は31資産、計604 MWの発電容量を有し、欧州における脱炭素社会実現に貢献します。また本件を機にグローバルな投資機会へのさらなる取り組みを推進します。